

26



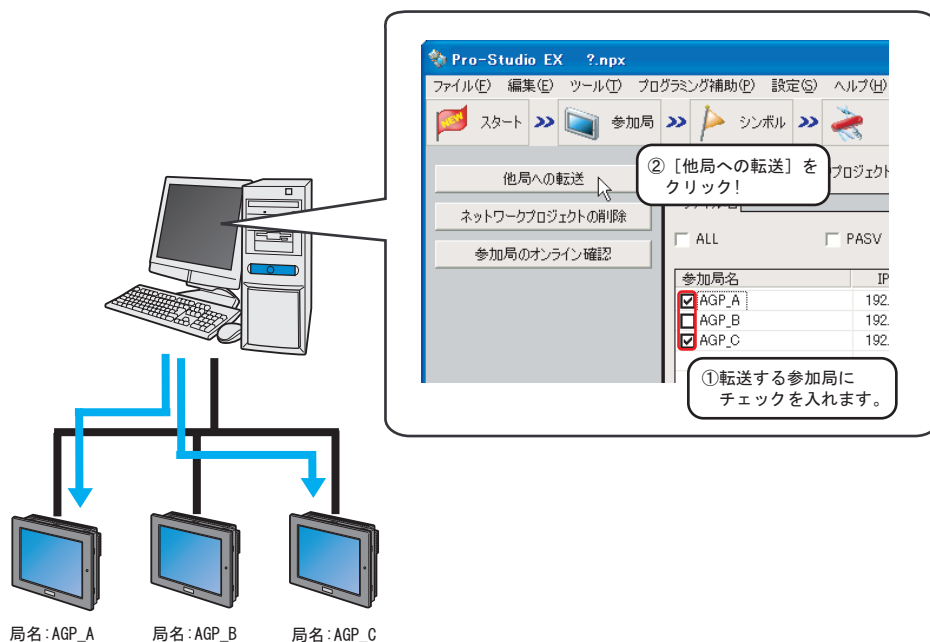
転送について

26.1	設定ガイド	26-2
26.2	制限事項	26-6

26.1 設定ガイド

ネットワークプロジェクトファイルを、指定する参加局に転送します。

ネットワークプロジェクトファイルが参加局に転送されることにより、アクションやデータ転送が実行できる状態になります。



MEMO

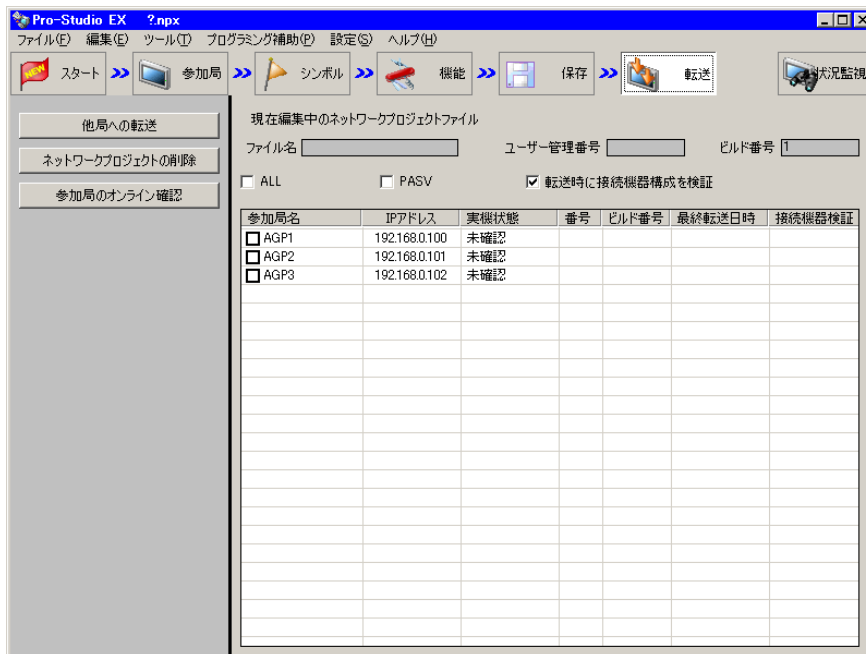
- ネットワークプロジェクトを転送する前に、必ず保存を行ってください。

☞「第 25 章 保存について」

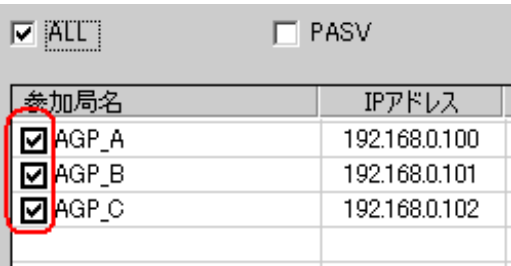
- 表示器にネットワークプロジェクトファイルを転送した場合、表示器は再起動されますが、バックアップ SRAM に格納されているデータは消去されず、転送前と同じ状態を保持します。
- 「オプション設定」画面の [接続時チェックモード] で [ID 比較モード] を選択している場合は、ネットワークプロジェクトの変更に対して影響のない参加局も含めて、全参加局にネットワークプロジェクトを転送する必要があります。[NPX 差分転送モード] を選択している場合は、ネットワークプロジェクトの変更が比較対象項目に影響しない限り、変更の影響がある参加局にのみネットワークプロジェクトを転送すればよく、大規模なシステムなどでは転送の手間が軽減できます。[接続時チェックモード] の詳細は以下を参照してください。

☞「34.3 オプション設定」

- 「オプション設定」画面の [接続時チェックモード] の選択を変更した場合は全参加局へ転送を実行してください。
- ネットワークプロジェクトファイルは表示器からパソコンへのアップロードはできません。
- 表示器に転送したネットワークプロジェクトファイルはバックアップを行ってください。



設定項目	設定内容
他局への転送	<p>ネットワークプロジェクトファイルを指定した参加局に転送します。転送が開始されると、「ネットワークプロジェクト転送」画面が表示され、ネットワークプロジェクトのコンパイル結果、各局への転送状態および終了メッセージが表示されます。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワークプロジェクトファイルを転送すると表示器はオフラインに移行し、転送終了後に再起動します。 複数の参加局に対し転送する場合も、一局ずつ順に転送します。途中の参加局の転送中にエラーが発生した場合、転送は中断して残りの参加局への転送は行われません。続行する場合は再度 [他局への転送] をクリックしてください。
ネットワークプロジェクトの削除	<p>指定した参加局のネットワークプロジェクトを削除します。「ネットワークプロジェクト削除」画面が表示されますので、[はい] または [いいえ] をクリックします。</p> <div style="text-align: center;"> </div>
参加局のオンライン確認	<p>指定した参加局から、「プロジェクトのバージョン」と「現在のバージョン」を取得し、参加局一覧の内容を更新します。</p>

設定項目		設定内容
現在編集集中のネットワークプロジェクトファイル		現在編集集中のネットワークプロジェクトファイルのファイル名、ユーザー管理番号およびビルド番号が表示されます。
ALL		<p>表示されているすべての参加局にチェックします。</p> 
PASV		<p>パッシブモードで転送します。 ネットワークプロジェクトファイルを GP4000/LT4000 シリーズ局、GP3000 シリーズ局、WinGP 局および LT3000 局に転送する場合のみ有効です。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> パッシブモードの転送は、ファイアウォールなどの設定で FTP コマンドをフィルタリングしているネットワーク環境下での転送に有効です。
参加局一覧	参加局名	登録されている参加局名が表示されます。 参加局を指定する場合は、チェックボックスをチェックします。
	IP アドレス	参加局の IP アドレスが表示されます。
	実機状態	[参加局のオンライン確認] を実行した場合、表示器または CF カードに転送されているネットワークプロジェクトファイルの情報が表示されます。 GP4000/LT4000 シリーズ局、GP3000 シリーズ局、WinGP 局および LT3000 局：転送されている場合、ファイル名が表示されます。 GP シリーズ局：ファイルの有無を確認することができます。
	番号	ユーザー管理番号が表示されます。 GP4000/LT4000 シリーズ局、GP3000 シリーズ局、WinGP 局および LT3000 局のみ表示されます。
	ビルド番号	ビルド番号が表示されます。 GP4000/LT4000 シリーズ局、GP3000 シリーズ局、WinGP 局および LT3000 局のみ表示されます。
	最終転送日時	ネットワークプロジェクトファイルが最後に転送された日時が表示されます。 GP4000/LT4000 シリーズ局、GP3000 シリーズ局、WinGP 局および LT3000 局のみ表示されます。

設定項目		設定内容
参加局一覧	接続機器検証	<p>表示器に転送した画面プロジェクトファイル（PRX）の接続機器情報と Pro-Server EX 側のネットワークプロジェクトファイルの接続機器情報が同じであるかどうかを表示されます。[参加局のオンライン確認] ボタンをクリックすると、最新の情報に更新されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 合致 参加局内の画面プロジェクトと転送済みのネットワークプロジェクトファイル（転送前は、編集中のネットワークプロジェクトファイル）の接続機器情報は同じです。 • 転送して合致 参加局内の画面プロジェクトと転送済みのネットワークプロジェクトファイルの接続機器情報は異なりますが、編集中のネットワークプロジェクトファイルを転送すれば正常に動作します。 • 異なる 参加局内の画面プロジェクト、転送済みのネットワークプロジェクトファイル、編集中のネットワークプロジェクトファイルの接続機器情報がすべて異なります。編集中のネットワークプロジェクトファイルと参加局内の画面プロジェクトの接続機器情報を一致させ、転送すれば正常に動作します。 • (空欄) 接続機器情報の検証を行うまえ（参加局のオンライン確認やネットワークプロジェクトファイルの転送前）は、何も表示されません。 <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> • 接続機器検証は GP シリーズ局では対象外となります。

26.2 制限事項

- 「オプション設定」画面の [接続時チェックモード] で [ID 比較モード] を選択している場合は、ネットワークプロジェクトの変更に対して影響のない参加局も含めて、全参加局にネットワークプロジェクトを転送する必要があります。 [NPX 差分転送モード] を選択している場合は、ネットワークプロジェクトの変更が比較対象項目に影響しない限り、変更の影響がある参加局にのみネットワークプロジェクトを転送すればよく、大規模なシステムなどでは転送の手間が軽減できます。 [接続時チェックモード] の詳細は以下を参照してください。
☞ 34.3 オプション設定
- 「オプション設定」画面の [接続時チェックモード] の選択を変更した場合は全参加局へ転送を実行してください。